

..... 編集後記 .....

◆またまた強力台風の襲来，伊豆などで大きな被害がありました。そして被害の復旧も済まないうちに，今度は超大型台風の襲来，豊岡市のほぼ全域が水没というショッキングな風景。水も引かないうちに今度は中越に裂震，地滑りで家屋多数が倒壊・新幹線が脱線。なんということでしょう，史上最大の自然災害月間の様相です。被災者の皆さんには心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りします。

◆さて地質ニュース今月号は，巡検旅行の話に，南の海の問題，単位や石油資源についての解説，出版物の紹介，文学にラクダの話とバラエティーに富んだ1冊となりました。

◆「チャーノックイト」といえば，大学の岩石学の講義でみんな聞く名前，でもどんな石かはよくわからない石。石原特別顧問の「磁鉄鉱系チャーノックイトの謎」を読むと，「なるほどなるほど」と思うのですが，その一方で，「ますます謎が深まった」とも思います。「そのうち私もインドに行って本物をじっくり眺めたい」と思う人も多いでしょう。

◆高橋氏の「モンゴル国ウランバートル付近の地質見学」を読むと，出掛けてみたくなります。初夏のモンゴルなら，青い草原に乾燥した涼風，エアコンのコンプレッサーの中に飛び込んでいくようなさわやかな世界なのですから。

◆川幡氏らの環境ホルモンの話，南の美しい珊瑚礁のビーチにも汚染が及んでいるなんてぞっとします。そしてその主原因は家庭で使用する洗剤のよう

です。私達一人一人の自覚が汚染回避の鍵を握っているようです。

◆茂野氏による国際単位系についての解説，私の頭の中もこの問題で大混乱でしたが，これを読んだおかげでちょっと整理できたようです。さらなる整理のためには自分で勉強しなげりゃね。

◆今年の年頭には1リットル100円を切っていたガソリンも今は120円に，原油相場が50ドルの大台を突破，まもなく地球の原油は枯渇するのか？こんな時期に，大久保氏の石油資源の枯渇問題の話題，一気に読んでしまいました。先行きはまだまだ不透明のようです。

◆名和氏らの宮崎地域重力図，田中氏らの地温勾配・地殻熱流量のデータベース，いずれも産総研の地質海洋分野が作成する国土情報の集大成。とすると情報の海に埋没し，見失われがちですが，皆さんこれを機に，活用して下さい。

◆蟹澤氏の「文学作品の舞台・背景となった地質学」は第5話で，「鲁迅，大岡昇平の作品と地質学」12ページの力作です。また「石の俗称」今回のテーマは「ラクダと石」，聖書・日本書紀から岩石学まで，多彩な内容に，私の頭はすっかり攪乱されました。新刊案内では(社)地盤工学会の意欲作を紹介しました。

◆編集後記をしたためるうちにも，また地震を感じました。中越地震の余震でしょうか。被災者の皆さんくれぐれもご注意下さい。(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久  
副委員長：山本茂男  
委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・  
光畑裕司・飯笹幸吉  
連絡先：地質調査総合センター  
地質ニュース編集委員会事務局  
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1  
Tel. 029-861-3603  
Fax. 029-861-3602

地質ニュース	第603号	2004年	11月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2004年11月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2004 Geological Survey of Japan  
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また，最寄りの書店でも注文できます。